



舟賃の定め書き
(可見市所蔵)

2025年
7/1(火) - 8/31(日)

中山道みたけ館
2階 郷土館 特別展示室

主催：岐阜県文化を切り口とした地域活性化プロジェクト実行委員会
御嵩町教育委員会生涯学習課文化振興係

企画展開催記念講話会

7/27(日) 14:00~15:30

会場 記念講話会は都合により中止します。

史家

入場無料・事前申込不要

明治時代にはじまる
旧制中学校の修学旅行を中心に、
中山道を旅した子どもたちの足跡を
関連資料とともに紹介します。

御嵩町制施行七〇周年記念事業
中山道みたけ館令和七年度企画展
いにしえの
修学旅行

入館
無料

岐阜県で中山道に旧制中学校の生徒たちが草鞋^{わらじ}を履いて旅する姿を現したのは明治20年(1887)でした。当地方における修学旅行のはじまりです。当初は中山道を中心に徒歩で、時には木曽川を舟で旅をしました。やがて中央線、東濃鉄道、太多線など鉄道の敷設がはじまり延伸がすすみ、さらに道路網が整備されていくと、修学旅行の行先、そして意義が変化していきます。

中山道が横断し、早くから旧制中学校である東濃中学校が置かれた御嵩町およびその周辺地域における、明治～昭和初期を中心とした修学旅行の姿、そして変遷を写真やパネルとともに紹介します。また、かつて盛んに利用された新村湊から木曽川を下る「舟賃の定め書き」木板、東濃中学校「日誌綴」(明治期)、修学旅行専用列車「こまどり」関連資料などを展示します。

今回の企画展により、「ふるさと」にまつわる人・物・ことの持つ価値に改めて気づく機会となれば幸いです。

日本の修学旅行の始まり

日本における最初の修学旅行とされているのは明治19年(1886)に東京師範学校で行われた「長途遠足」という行事です。これは、99人の生徒が鉄砲等を携帯した状態で目的地の千葉県銚子方面へ向かい、軍事演習や気象の観測、作図、貝類の採集等を行った、というものです。移動手段は徒歩で、出発から帰着まで12日かかりました。

当時の日本では運動会や遠足などの行事は立派な兵士を育てる上で有用な訓練であるとして推奨されていました。その中で遠足に学術研究としての性質を加えたのが長途遠足であり、修学旅行の原型となりました。

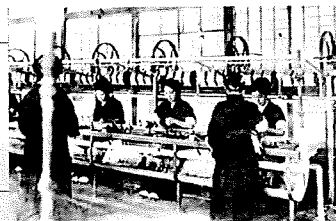
以後、学校制度や時代の変遷とともに、修学旅行はその意義や姿を変えながら定着していきます。



分列行軍訓練

岐阜中学校の修学旅行

岐阜県尋常中学校は明治20年11月末に、東濃地方へ1週間にわたる修学旅行を実施しています。これが岐阜県で最初の修学旅行です。



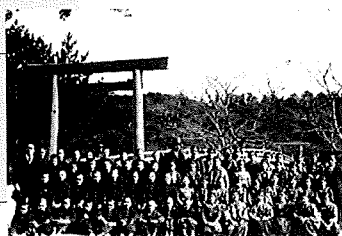
製糸器械場



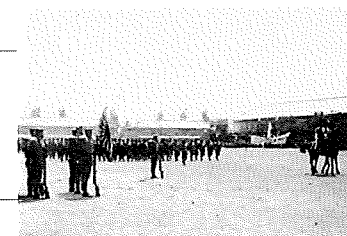
湯庚蔵

東濃中学校の修学旅行

岐阜県東濃中学校は、明治31年(1898)5月に、4泊5日で伊勢参拝の修学旅行を実施しています。開校から8年目にあたり、最上級生が行った修学旅行です。



伊勢神宮参拝



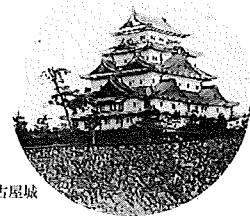
陸軍歩兵聯隊

修学旅行専用列車「こまどり」

一般客との混雑を避け安全を確保するため、東海地方の修学旅行生用に造られました。昭和35年(1960)に大垣～品川間の運転を開始しました。



修学旅行専用列車「こまどり」



名古屋城

展示ガイド

スタッフが展示内容を解説します。事前申込不要。

日時:7/13(日)、8/17(日) 時間:14:00 から30分間程度
場所:2階特別展示室

御嵩町 HP



中山道みたけ館

〒505-0116 岐阜県可児郡御嵩町御嵩1389番地1/TEL:(0574)67-7500/FAX:(0574)68-0005
開館時間 ●火曜日～金曜日:午前10時～午後6時 ●土・日・祝日:午前9時～午後5時
休館日 ●毎週月曜日(祝日は開館) ●毎月第3火曜日 ●毎月最終金曜日
アクセス ●名鉄広見線「御嵩駅」下車徒歩3分 ●東海環状自動車道「可児御嵩IC」より車で5分
●中央自動車道「土岐IC」より車で15分

